

内閣府国際平和協力本部事務局主催

第4回国際平和協力シンポジウム

多機能型国連 PKO 活動の深化と拡張
～我が国の国際平和協力活動のさらなる地平に向けて～

平成 25 年 1 月 24 日（木） 13：30～18：15
国連大学ビル5階 エリザベス・ローズ・ホール

プログラム

掲載ページ

総合司会：福島安紀子 青山学院大学国際交流共同研究センター研究員	
開会挨拶：高橋礼一郎 内閣府国際平和協力本部事務局長	2
基調講演：星野俊也 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授 “複合化する国連 PKO 任務にどう取り組むか”	5

セッション1

「武装解除・動員解除・社会復帰(DDR)と治安部門改革(SSR)に見る国連 PKO の役割と課題」

<パネリスト>

志茂雅子 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員	17
安富 淳 認定 NPO 法人日本紛争予防センター シニア・プログラムオフィサー	30
湧川いづみ 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員	33
央戸恒信 東京女子大学現代教養学部教授、元国際通貨基金及び世界銀行職員	44

セッション2

「多機能型国連 PKO の活動領域のさらなる拡張（保健、教育分野）」

<パネリスト>

田中極子 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員	57
松木泰憲 1等陸佐 陸上幕僚監部衛生部企画室長兼自衛隊中央病院第1内科	69
外山聖子 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員	73
長谷川祐弘 法政大学法学部教授、国連大学客員教授、 元東ティモール担当国連事務総長特別代表	85

閉会

出演者プロフィール

総合司会

福島安紀子（ふくしま あきこ）

青山学院大学国際交流共同研究センター研究員

1994年米国ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院(SAIS)より修士号。1997年大阪大学より博士号。総合研究開発機構(NIRA)主席研究員、国際交流基金特別研究員を経て現職。その他、在ブラッセルEUアジアセンター国際諮問委員を兼務。英国国際戦略問題研究所(IISS)、International Studies Association(ISA)会員。主な著作に *Japanese Foreign Policy: A Logic of Multilateralism*、『レキシコン：アジア太平洋安全保障対話』、『人間の安全保障』、『紛争と文化外交』等。

開会挨拶

高橋礼一郎（たかはし れいいちろう）

内閣府国際平和協力本部事務局長

東京大学教養学部卒業。1980年外務省入省。アジア局南東アジア第一課、経済局技術協力課、在フィリピン日本大使館一等書記官、在アメリカ合衆国日本大使館参事官、アジア大洋州局南東アジア第一課長、大臣官房報道課長、在インド日本大使館公使、国際協力局参事官、在大韓民国日本大使館総括公使等を歴任。2011年1月から在アフガニスタン日本国大使館大使。2012年9月より現職。

基調講演

星野俊也（ほしの としや）

大阪大学大学院国際公共政策研究科教授

上智大学外国語学部卒。学術修士(東京大学)、国際公共政策博士(大阪大学)。外務省在米日本大使館専門調査員、米プリンストン大学客員研究員、日本国際問題研究所主任研究員などを歴任。2003年より大阪大学大学院国際公共政策研究科教授。2011年4月、同大学院研究科長。同年8月より大阪大学総長補佐を兼務。2006年から08年には外務省に出向し、国際連合日本政府代表部公使参事官。在職中、米コロンビア大学客員研究員も兼任した。

セッション1

「武装解除・動員解除・社会復帰(DDR)と治安部門改革(SSR)に見る国連PKOの役割と課題」

志茂雅子(しも まさこ)

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第10期生

東京大学教養学部国際関係論を卒業後、都市銀行勤務を経てイェール大学にて国際関係論の修士号を取得。UNHCRのインターンを経験し、2001年より日本政府国連代表部経済部にて専門調査員をつとめ、経済・開発関係の交渉の決議案交渉に携わる。その後ユニセフ(中国)、セーブ・ザ・チルドレン(日本及び中国)で、子ども保護、人道援助に携わる。2011年9月より国際平和協力研究員として勤務。

安富 淳(やすとみ あつし)

認定NPO法人日本紛争予防センター シニア・プログラムオフィサー

上智大学比較文化学科卒業。英国ブラッドフォード大学国際安全保障学修士、ベルギー・ルーヴェン大学博士(Ph. D.)。外務省専門調査員として在ブルガリア共和国日本大使館に勤務後、ベルギー・ルーヴェン大学国際平和研究・戦略研究所、ノルウェー・オスロ平和研究所(PRIO)、日本国際民間協力会(NICCO)を経て、2010年5月より現職。

湧川いづみ(わくがわ いづみ)

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第11期生

カリフォルニア州立大学サンタ・クルーズ校で政治学を専攻。モントレイ国際大学院大学国際政策修士課程において、核不拡散や軍縮問題を専門とする。米国防総省海軍大学院大学国家安全保障局にて研究員として勤務。2007年~2012年ネパールの政策研究所の立ち上げに、技術アドバイザーとして従事。研究所のプロジェクトとしてDDRやSSRに取り組んだ経験を持つ。2012年5月より国際平和協力研究員として勤務。

央戸恒信(ししど ひさのぶ)

東京女子大学現代教養学部国際社会学科経済学専攻教授

一橋大学社会学部卒業。マサチューセッツ工科大学で経済学、都市学でPh. D.を取得。

2012年-現在 東京女子大学現代教養学部国際社会学科経済学専攻 教授

2008-12年 世界銀行ネパール事務所にてポリシークラスターリーダー

2006-07年一橋大学経済学研究科アジア公共政策プログラム ディレクター 兼 教授

2000-01年一橋大学国際企業戦略研究科アジア公共政策プログラム 教授

1995-2007年 国際通貨基金(ワシントンDC)にてラオス、ネパール、ミャンマー、モルジブのミッションリーダー、ベトナムの副ミッションリーダーとしESAF, PRGF等のIMFからの支援、および第4条協議を担当。

1986-95年 世界銀行(ワシントンDC)にてネパール、スリランカ、フィリピン担当で構造調整クレジットおよびカントリーエコノミックレポート担当。

セッション2

「多機能型国連PKOの活動領域のさらなる拡張（保健、教育分野）」

田中極子（たなか きわこ）

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第10期生

津田塾大学学芸学部国際関係学科卒、英国サセックス大学大学院国際関係学修士、国際基督教大学行政学研究科博士後期課程在籍。在オランダ大使館化学兵器禁止条約班及び軍縮会議日本政府代表部専門調査員を経て、2011年9月より国際平和協力研究員として勤務。専門は、保護する責任や文民の保護等の規範概念に関わる問題のほか、保健分野における日本の貢献について考えている。

1等陸佐 松木泰憲（まつき やすのり）

陸上幕僚監部 衛生部 企画室長 兼 自衛隊中央病院第1内科

1990年 防衛医科大学校卒業後、内科・リウマチ膠原病専門医官、医学博士として防衛医科大学校、自衛隊中央病院等で診療・研究に携わる一方、第6後方支援連隊衛生隊（山形）、第1師団司令部医務官（東京）等の勤務を経験。2005年 イラク復興業務支援隊医務官として医療支援活動に参加。2008年 防衛研究所に一般課程研修員として入所し、医療分野における民軍協力等に関する研究に従事（論文は2010年 防研紀要 12巻 2,3合併号に掲載）。2011年 陸上幕僚監部 衛生部企画室勤務時、ハイチ国際緊急援助活動や同国連平和維持活動における医療支援計画策定等を実施。西部方面総監部医務官（熊本）を経て2012年7月から現職。

外山聖子（とやま せいこ）

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第11期生

専門分野：教育、平和構築、緊急人道支援

コロンビア大学教育大学院 国際教育開発学。教育修士。国際連合教育科学文化機関(UNESCO)パリ本部インターン後、コロンビア大学大学院にて平和教育教授法・紛争解決学、企業などで協調的交渉・調停などのセミナー講師を務める。2006年8月からピースウィンズジャパン（NGO）東ティモールオフィスに出向し、緊急・人道支援、紛争後教育支援フィールドコーディネーターを担当。2012年4月から国際平和協力研究員として勤務。事務局ではPKOと緊急・人道支援、教育支援における民軍連携の研究とともに、PKO派遣前研修（GPTM）の「国連カントリーチーム：ミッションパートナーとの協働」を担当。共著に「世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業」東ティモール学際調査報告書。文部科学省（2008年）、Betty A. Reardon and Alicia Cabezudo. (2002) *“Learning to Abolish War: Teaching Toward Culture of Peace.”* Hague Appeal for Peace. などがある。

長谷川祐弘（はせがわ すけひろ）

法政大学法学部国際政治学科教授、元東ティモール担当国連事務総長特別代表

国連大学客員教授。日本国際連合学会理事。東ティモール民主共和国大統領特別顧問、親善大使。地球憲章アジア太平洋委員会理事。2004年5月より2006年9月まで国連事務総長特別代表（東ティモール）。国連カンボジア平和維持活動・選挙監視団総括、国連ソマリア平和維持活動（政策企画部長）、

ルワンダ・国連人道・開発調整官。専門は、平和構築論、国際機構論。1974 年米国ワシントン大学で国際関係開発論博士号取得。